

# 信毎春休み 諏訪響コンサート新聞

編集発行

信毎販売センター  
茅野営業所

電話 72-4198

ファクス 73-0766

第4号

## 華麗な調べに大きな拍手



諏訪交響楽団（茅野市民館マルチホール）

### 諏訪交響楽団と 久元祐子さんが協演

21日、茅野市民館マルチホールで「信毎春休み諏訪交響楽団コンサート」が行なわれました。信濃毎日新聞社と信毎販売センター茅野、下諏訪、原村営業所の主催で4回目。常任指揮者・濱一さんが指揮、ピアニスト久元祐子さんと協演しました。

演奏したのは、R・ワグナー楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲、モーツァルト「ピアノ協奏曲第21番ハ長調」K467、伊福部昭「管弦楽のための「日本組曲」など。主催者は「オーケストラ」など。

ラの醍醐味を存分に堪能してもらい、地域の皆様と音楽を通じて交流ができれば」と企画しました。

今回初めての試みは「指揮者体験コーナー」。「アルルの女」第2組曲の「メヌエット」と「ファランドール」を茅野市・永明中学校の三人の生徒さんがタクトを振り、七十人の楽団員との呼吸もピッタリで、見事な演奏でした。

ピアニストの久元祐子さんは、市民館のピアノ、「ベーゼンドルファー」（オーグストリア・ウィーン生まれのピアノ名器）の持つ深く、あたたかい音色でモーツァルトの魅力を存分に聞かせてくれました。東京などでの多忙な演奏活動の中、「茅野の人と自然にふれ合える諏訪響コンサートにははずせません」と三回目の出演。

### 諏訪交響楽団



タクトを振る 永明中学校生徒

諏訪交響楽団は一九二五年（大正十四）年に発足、創立八十五年を迎える。日本のアマチュアオーケストラとしては最も歴史がある。小沢征爾さんから世界的音楽家とも共演している。現在の団員は約八十人、定期演奏会を年2回開いている。一九九六年にサントリー地域文化賞、二〇〇〇年には第七回信毎賞を受賞した。理事長の丸茂洋一さんは茅野市玉川に在住。

### 新書紹介

信濃毎日新聞社刊

### 御柱祭

A5版/オールカラー110頁

公式ガイドブック

定価500円（税込み）

御柱祭はこの一冊で分かる！

### ご注文は

(株) 信毎販売センター

茅野営業所 TEL0266-72-4198

原村営業所 TEL0266-70-1175

下諏訪営業所 TEL0266-27-7602